

カウンター型空気清浄機

PA2010

取扱説明書



- お買い上げいただきありがとうございます。
- この「取扱説明書」をよくお読みになり正しくご使用ください。
- 本書をお読みになった後は大切に保管してください。

= 目次 =






| | | | |
|-------------------|-------|-----|------|
| 1. 安全上のご注意 | ----- | 1~2 | Page |
| 2. 各部の名称 | ----- | 3 | |
| 3. 集塵原理 | ----- | 4 | |
| 4. 使いかた | ----- | 4 | |
| 5. 消煙機能付灰皿の使いかた | ----- | 5 | |
| 6. メンテナンス | ----- | 6~9 | |
| 7. 「故障かな？」と思ったときは | --- | 10 | |
| 8. アフターサービス | ----- | 10 | |
| 9. 仕様 | ----- | 11 | |
| 10. 配線図 | ----- | 12 | |

1. 安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 注意事項は次のように区分しています。
説明書中にこれらのマークと見出しがあったら記載内容を特に注意してお読みください。







| | | |
|---|-----------|---|
|  | 警告 | 「死亡または、重傷を生じる危険性があると同時に、障害、感電、火災が生じる可能性がある」ことを示しています。 |
|  | 注意 | 「軽傷または、中程度の障害を生じる危険性があると同時に、本機が故障する可能性がある」ことを示しています。 |

<絵表示の例>

| | | |
|--|--|---|
|  | <p>「禁止事項」(してはいけないこと)を示します。 詳細内容は、文章で図の近くに併記します。</p> |  「分解禁止」  「水ぬれ禁止」  「接触禁止」 |
|  | <p>「強制事項」(必ずしてください)を示します。 詳細内容は、文章で図の近くに併記します。</p> | |

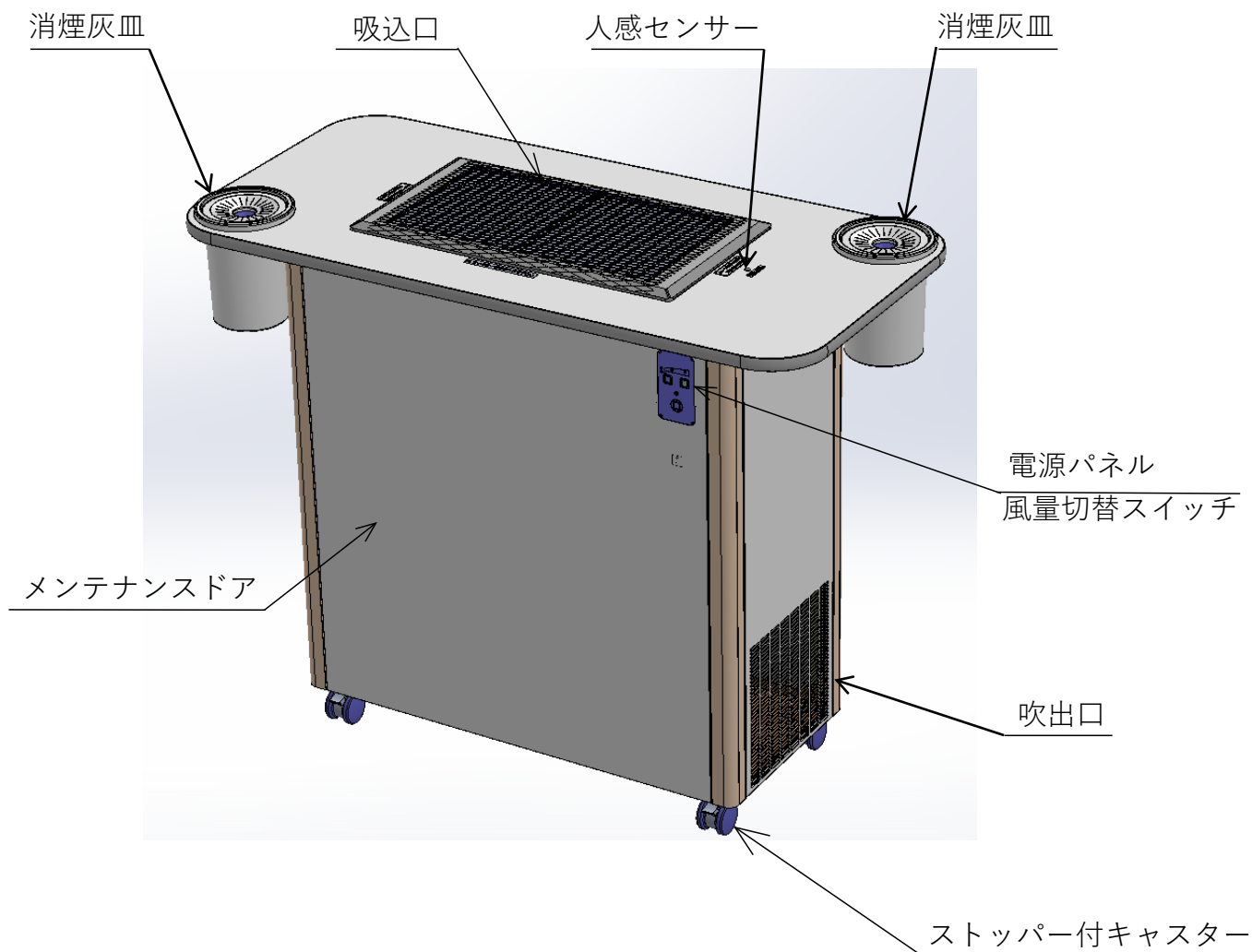
| | | | |
|---|--|---|---|
|  | 警告 | 「死亡または、重傷を生じる危険性があると同時に、障害、感電、火災が生じる可能性がある」ことを示しています。 | |
|  | <p>■ 適正な電源での使用 火災・感電・けがの原因になります。機器本体の規格にあった電源電圧でご使用ください。</p> |  | <p>■ メンテナンス時は電源を切ってください 感電・けがの原因になります。</p> |
|  | <p>■ 分解・改造禁止 火災・感電・けがの原因になります。絶対に分解、改造はしないでください。修理はお買い上げの代理店または弊社のサービス担当にご連絡ください。</p> |   | <p>■ 水をかけたり、ぬれた手で操作しないでください 本体やスイッチ類に水をかけたり、ぬれた手で触ったりしないでください。ショートや感電の恐れがあります。</p> |
|  | <p>■ 防爆区域では使用しない 火災・感電・けがの原因になります。</p> |  | <p>■ アースは確実に取り付ける 感電・けがの原因になります。</p> |

1. 安全上のご注意（続き）

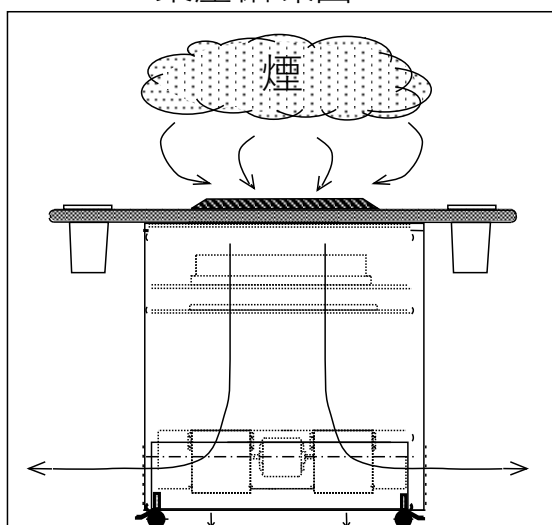
|  注意 「軽傷または、中程度の障害を生じる危険性があると同時に、本機が故障する可能性がある」ことを示しています。 | | | |
|--|--|---|---|
|   | <p>■ 吹出口や吸入口に手や物、吸い殻を入れない けがや故障の原因になります。</p> <p>回転部に触れたりする様な行為は絶対にしないでください。またタバコを吸入口部分で揉み消すことは異常放電や火災に繋がる可能性もありますので絶対にしないでください。</p> |  | <p>■ 電源コードを引っ張ったり、物を掛けたりしない 火災発生の恐れがあります。</p> <p>電源コード(内部の電線も含め)が切れる、または伸ばす様な行為はしないでください。</p> |
|  | <p>■ 本体の設置について けがや故障の原因になります。</p> <p>本体の設置場所は十分強度のあるところを選び、確実に行ってください。本体の倒れなどにより思わぬ事故につながる場合があります。また側を通る人と接触しないよう十分間隔を空けてください。</p> |  | <p>■ 下記の環境雰囲気では使用しない</p> <p>機器のサビ・故障など機器の寿命を早めたりする原因になりますので、次の環境下でのご使用は避けてください。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 湿度がRh98%以上の場所・ 粉じんの著しく多い場所・ 0～45℃範囲以外の場所 |

2. 各部の名称

PA2010は、手軽に移動可能なカウンター型空気清浄機です。
集塵能力には定評のあるニードル放電方式を採用し室内の空気を爽やかに保ちます。



集塵循環図

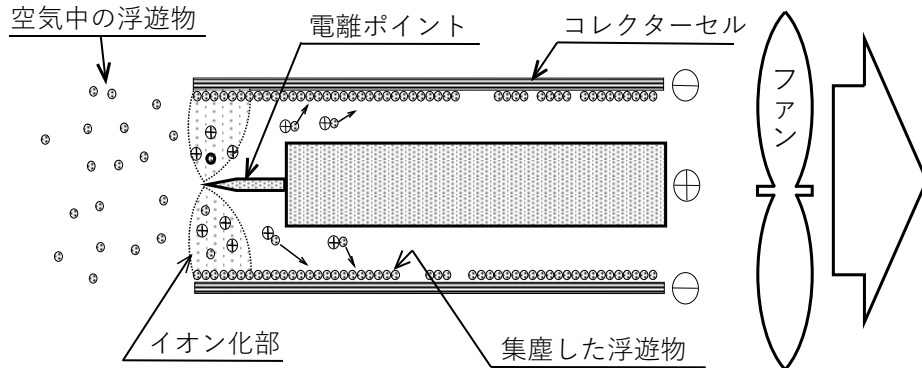


吸込口に飲み物やたばこの
吸殻は絶対に入れないでください。

3. 集塵原理

ファンに引かれた浮遊粒子は、電離ポイント(+5KV)とコレクターセル(0V)間で形成されたイオン化領域を通過する際に荷電されてプラスイオンを帯びた粒子となります。

この粒子は高電圧ポイントとコレクターセル間の平面電界により、コレクターセル側に押しつけられ集塵されます。



4. 使いかた

コンセントにプラグが差し込まれていることを確認してください

電源パネル

PA2010の使いかた

電源パネルの「ON/OFF」ボタンを押すと運転を開始します。風量の切替は「風量切替」のボタンで選択してください。運転終了時は「ON/OFF」ボタンをもう一度押すと停止します。

センサー運転

人感センサーを内蔵しており人がいなくなると約10分後、自動的に運転を停止します。右図はコンセントに接続して初めて「ON/OFF」ボタンを押した直後の状態で、AUTOランプが点灯し「センサー運転中」を示しています。

手動運転

センサー機能を使用しない手動運転の場合は、AUTOボタンを押すとAUTOランプが消えて手動運転になります。運転を終了する時は「ON/OFF」ボタンを押すと停止します。

※次の運転開始時には前回終了前と同じ運転状態

および同じ風量で動作します。



5. 消煙機能付灰皿の使いかた



5-1. 使いかた

当清浄機は灰皿を2個標準装備しています。
たばこの吸い殻を上部の灰皿部分で必ずもみ消
してから投入口に入れてください。

この灰皿は万が一火がついたままのたばこが入った場合でも内部を酸欠状態にする消煙機能があります。

なお消火までには数分間かかります。

注意¹

灰皿には水を入れしないでください。

吸い殻に水を加えるとアルカリ性となり、アルミ製の本体が腐食して最終的には穴が開く可能性があります。

また水を入れると重量が増え灰皿の取手に過大な力がかかり、灰皿が外れて落下する危険があります。

5-2. 吸い殻の取り出し

上蓋を取り、右写真の様に引き上げます。
灰皿は約200本收容出来ますが、本数が
少なくともその日のうちに捨ててください。

注意²

吸い殻を捨てる際には必ず吸い殻に水を
かけてから捨ててください。



5-3. 清掃方法

消煙機能用の金属製のシャッターが汚れてきたら、
柔らかいブラシに洗剤をつけて軽く洗浄し濯いでくだ
さい。

汚れがひどい場合はシャッターを取り外して洗浄しそ
の後よく乾燥させて元の状態にセットしてください。
なおシャッターが変形すると消煙機能が動かなくなり
ますので丁寧に作業を行ってください。
変形してしまった場合は交換してください。

6. メンテナンス

※空気清浄機は、煙・粉塵等を捕集する機械のためメンテナンスは一番の重要項目です。
弊社が定期的にお伺いする「オーデンメンテナンスサービス」をぜひご利用ください。

以下に参考としてメンテナンス方法をご説明します。

ただし洗浄後の廃液取り扱いにつきましてはPh調整、沈殿槽等による処理後に産業廃棄物としての処理が必要となりますのでご注意ください。

メンテナンスサイクル

ご使用の状態によりメンテナンス実施時期に違いがありますが、1ヶ月1回を基準としてください。

用意するもの

- 1) 集塵ユニット専用洗剤(別売)
- 2) 洗浄槽(ポリ容器)W400×L700×D200以上
- 3) ゴムまたはビニール手袋
- 4) 防護メガネ
- 5) 乾燥器(ドライヤー等)自然乾燥の場合は不要
- 6) 掃除機
- 7) 洗浄ブラシ(別売)
- 8) タオル、拭き取り用洗剤(換気扇・レンジ用)

お手入れの際には 電源をオフにして
電源プラグを抜いてください。



注意事項

- 集塵ユニットの洗浄には専用洗剤をご使用ください。
他の洗剤をご使用の場合は保証できません。(専用洗剤は販売店よりお買い求めください)
- 洗浄するときはゴム手袋を使用し皮膚につかないようご注意ください。
(洗浄液が目に入った場合はすぐに多量の水で洗い流し医師の診察を受けてください)
- コレクターセル、電離ポイント、プレフィルタは充分乾燥させてください。
乾燥が不十分な場合、故障の原因になります。
- 洗浄の際、コレクターセルを曲げないようにご注意ください。
- 洗浄後の排水は産業廃棄物業者にご依頼ください。

お手入れの際は 必ず手袋をしてください。
集塵ユニットには先端の鋭利なニードル(針)があるため取扱いには十分注意してください。



6. メンテナンス（続き）

6-1. メンテナンスドアの開閉

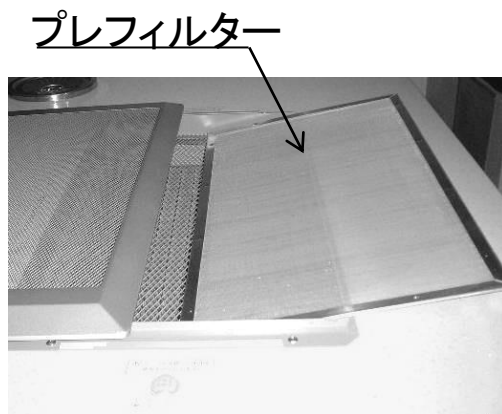
1. 2つのツマミをゆるめ手前に引き上に持ち上げるように外します。



2. 次に内側ドアにある2つのツマミを緩め蓋を取り外してください。



6-2. 各フィルターの名称

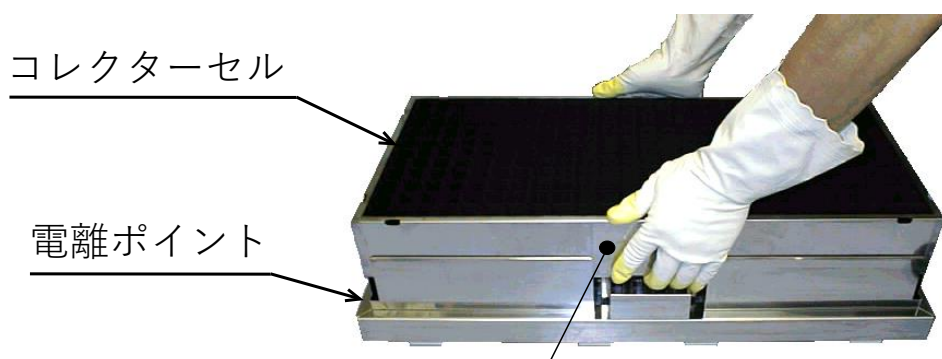


- ・集塵ユニットと脱臭フィルターは手前へ引き出してください。
 - ・プレフィルターは吸込口を取り外してから取り出してください。
- ※集塵ユニットは重量があるため慎重にお取り扱いください

- プレフィルター・・・綿ゴミや大きめの粉塵を除去します。
- 集塵ユニット・・・コロナ放電を利用し微細粉塵を吸着します。
- 脱臭フィルター・・・臭いを取るフィルターです。(洗浄はできません)

6. メンテナンス（続き）

6-3. 集塵ユニットからコレクターセルを取出す



この部分を持って上に引き上げ、
コレクターセルを取り外します



注意

洗浄液は高アルカリ性(pH12)のため必ず手袋をして皮膚に付着しないようご注意ください。
また集塵ユニットには鋭い針があり大変危険ですので十分にご注意ください。

6-4. 洗浄液の作り方



コレクターセルが浸る量の洗浄液を作ります。

※洗浄液は10倍の希釈液とします。

（洗剤：水＝1：9）

- 1) 洗浄槽に専用洗剤を注ぎます。
- 2) 水を加え洗浄液とします。

例：20ℓの希釈液を作る場合は専用洗剤2ℓ、水18ℓになります。

6-5. コレクターセルの洗浄

- 1) コレクターセルを洗浄液に1～3分浸します。
浸す時間は汚れ落ち具合を見ながら行ってください。
（長時間浸さないでください。コレクターセルの寿命が短くなります）
- 2) 洗浄液から引き上げて汚れが落ちていない場合は専用ブラシをかけます。
- 3) 水に浸してよく濯ぎます。濯ぎが不十分な場合、洗剤分が残り清浄機の性能が十分発揮できないことがあります。
- 4) その後乾燥させます。ドライヤー等を使用すると短時間で乾燥できます。
自然乾燥の場合は風通しのよいところで乾燥させてください。
乾燥が不十分な場合、故障の原因になりますのでご注意ください。

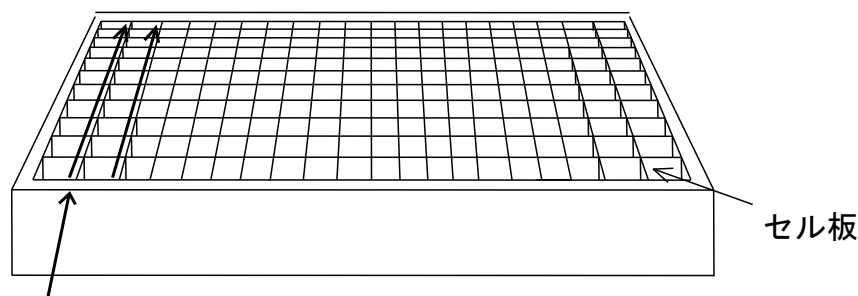
6. メンテナンス（続き）

6-6. コレクターセルのチェック

洗浄後のセルは「セル板」が曲がっていることがあります。そのまま使用するとパチパチと異常放電音がしやすくなります。プラスとマイナス間が狭くなることにより異常放電するため、このチェックはとても重要です。時間をかけて慎重に行ってください。

※パチパチと音が連続する場合は高圧電源の故障原因となりますので、速やかに電源を切り下図の確認を行ってください。

※曲りがあった場合は指やペンチ等で逆方向に反らしまっすぐなるよう修正してください。修正しきれない場合はコレクターセルを交換してください。



セルの板が曲がっていないか1列ごとに目で追って確認してください。
(縦横とも。裏面も同じように)

6-7. 電離ポイントの清掃

ニードル(針)と一体型の電離ポイントは、前項コレクターセルと同様に洗浄液に浸し、汚れをブラシで擦り落としてください。特に針先の汚れが性能に影響を与えますので丁寧にブラシをかけてください。洗浄後は水で濯いだあとよく乾燥させてご使用ください。

6-8. プレフィルターの洗浄

大きなゴミは掃除機で吸い取り、その後よく水洗いしてください。油やヤニ汚れがある場合は、コレクターセルを洗浄した洗浄液に1~2分程度浸し、水洗い後よく乾燥させてご使用ください。

6-9. 脱臭フィルターの交換

脱臭フィルターは6か月に一度の頻度で交換してください。交換時期はご使用状況により短くなることがあります。なお脱臭フィルターは洗浄できませんので販売店へご依頼ください。(脱臭フィルターは有償となります)

6-10. 清浄機内部の清掃

煙等の通り道となる吸込口から本体内部にかけても、メンテナンスの毎に清掃してください。一般に市販されている拭き取用洗剤(換気扇・レンジ用)を使用し、清掃後は完全に乾燥させてから集塵ユニット・フィルターをセットしてください。

7. 「故障かな？」と思ったときは

| 現象 | 原因 | 処置 |
|-----------------|---|--|
| 電源が入らない | ①コンセントが差し込まれていない ②インターロックスイッチが入っていない | ①コンセントを差し込む ②メンテナンスドアをしっかり閉める |
| パチパチと音が連続で出る | ①コレクターセルと電離ポイントの間隔が不適切 ②コレクターセル、高電圧ポイントの乾燥が不完全 | ①コレクターセルの歪んでいる箇所を修正する ②完全に乾燥させる ③コレクターセルまたは電離ポイントを洗浄する |
| ファンは動いているが集塵しない | ③コレクターセルまたは電離ポイントにゴミが付きすぎている | ①接触箇所を分離し曲がり修正する ②集塵ユニットを奥まで確実に押し込む ③高圧電源の交換が必要 |
| 風の出方が弱くなった | ①コレクターセルと電離ポイントが接触 ②高電圧給電部の接触不良 ③高圧電源の異常 | ①プレフィルターを清掃・洗浄する ②集塵ユニットを洗浄する ③本体内部を良く清掃する ④脱臭フィルターを交換する |
| 臭いが出る(とれない) | ①プレフィルターが目詰まりしている ②集塵ユニットにゴミが目詰まりしている ③本体内部の清掃が不十分 ④脱臭フィルターが目詰まりしている | ①換気をしてください(換気は必要です) ②集塵ユニットをメンテナンスする ③脱臭フィルターを交換する ④本体内部を清掃する |

8. アフターサービス

(1) 保証書

- ・ 保証書は必ず「販売店名・お買上日」などをご確認の上、受け取ってください。
- ・ 内容をよくお読みになり大切に保管してください。
- ・ 保証期間はご購入日から1年間です。
- ・ 保証書は日本国内においてのみ有効です。
- ・ フィルターなどの消耗品・寿命部品は有料になります。

(2) 修理を依頼されるときは

- ・ 故障診断(“7. 「故障かな？」と思ったときは”を参照ください)でチェックしてください。それでも直らないときは販売店にご連絡ください。

(3) 保障期間中のお取り扱いについて

- ・ お求めになった販売店にご連絡ください。
- ・ 保証書に記載されている事項に従って販売店が修理いたします。

(4) 保証期間が過ぎたときのお取り扱いについて

- ・ お求めになりました販売店にご連絡ください。
- ・ 修理により商品の機能が維持できる場合にはご要望により有料で修理いたします。

9. 仕様

| | |
|----------|---------------------------|
| モデル名称 | PA2010 |
| 区分 | カウンター型 |
| 電源 | AC100V |
| 周波数 | 50/60 Hz |
| 消費電力 | 120/130 W |
| 処理風量 | 16/18 m ³ /min |
| 外観寸法 | 1258幅×608奥行×1022高 |
| 質量 | 77 kg |
| 風量調節 | 2段階切替 |
| 集塵方式 | ニードル放電方式 |
| 設置方法 | 床設置型 |
| 人感センサー運転 | あり（人がいなくなった10分後に停止） |
| 電流ヒューズ | 3A-125V（SBタイプ） |
| 付属品 | 消煙灰皿2ヶ付 |

10. 配線図

